

健康福祉委員会
令和4年2月25・28日
健康政策部資料104番
所管 健康医療政策課

人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト（東邦大学との共同研究）「試行テーマ及びモデル地区の選定」について

## 1 目的

人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクトの一環として、研究成果の実装に向け、令和4年度からテーマ及び地区を定めて新たな健康づくり施策のモデル事業を実施する。

## 2 モデル事業の位置付け

本プロジェクトは、行政情報分析、質問票調査、実装戦略への提言から構成され、モデル事業は「実装戦略への提言」の足掛かりとする取組みである。

## 3 試行テーマ及びモデル地区の選定

### (1) 試行テーマ

若い世代からの糖尿病予防を念頭に置いた食習慣及び運動習慣の改善

### (2) モデル地区

大森東特別出張所及び鶉の木特別出張所管内

## 4 試行テーマの選定理由

- (1) 地区別に様々な課題がある一方で、選定した試行テーマに関しては全地区に共通する課題であり、区として優先的に取り組む課題を共通化することで、区民の行動変容への訴求力の向上につながることを期待できる。
- (2) 健康政策部の保健師、歯科衛生士、栄養士などの専門職が共通して関わることのできる課題であり、人材育成につながる。
- (3) 食習慣及び運動習慣の改善は糖尿病に限らず、生活習慣病全般の予防への波及効果が期待できる。

## 5 モデル地区の選定理由

- (1) 地区特性に応じた取組を試行的に行うにあたり、地理的及び特性的にも異なる2地区を比較対象とすることが望ましい。大森東地区については、平均値と比較し相対的に良好でない数値が多く、鶉の木地区は平均的な数値が多い。
- (2) 人口規模や町会数が同程度で比較しやすい。

## 6 今後の予定

令和4年4月以降 試行内容決定後、順次取組実施。

令和5年度以降 モデル事業の評価を踏まえ、区内全域で順次展開予定。